

宍道湖・中海環境データベースに関する 平成18(2006)年度の進捗報告

都筑良明*1 中山大介*2 倉田健悟*2 若林健二 國井秀伸*2

*1 日本学会議事務局上席学術調査員、島根大学汽水域研究センター協力研究員

*2 島根大学汽水域研究センター

LAGUNA (汽水域研究) Vol.14,83-90(2007)

キーワード：宍道湖、中海、環境データベース、プロトタイプ

宍道湖・中海環境データベース検討会での議論に基づく本年度（平成18年度）の進捗状況を報告するものである。本年度の主な進捗点は、(1)サイト内検索機能の追加、(2)行政および地域の活動に、主に鳥取県についての情報追加、(3)汽水湖データ

ベース、汽水域文献データベースの追加、(4)汽水域研究センターの前身と考えられる島根大学山陰地域研究総合センターが発行した2点のアトラスの一部の公開、(5)宍道湖・中海の底質情報の追加、である。